

資料配付の場所

- ・国土交通記者会
 - ・国土交通省建設専門紙記者会
 - ・国土交通省交通運輸記者会
 - ・つくば研究学園都市記者会
- 平成22年7月14日同時配布

平成22年7月14日
記者発表
道路局
国土技術政策総合研究所

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発 ～研究募集の審査結果～」について

国土交通省道路局では、「学」の知恵、「産」の技術を幅広い範囲で融合することにより、道路政策の質を一層向上させるため、新道路技術会議（H16.10.13設置）を設置し、道路政策の質の向上に資する技術研究開発を進めているところです。

平成22年3月31日～平成22年5月24日の期間、平成22年度から取り組む技術研究開発の募集を実施したところ、50件の応募がありました。

応募いただいた技術研究開発について、平成22年7月6日に開催されました「新道路技術会議」（委員長 中村英夫 東京都市大学学長、東京大学名誉教授）において審査を行った結果、別紙のとおり4件が採択されましたのでお知らせいたします。

詳細は、国土交通省道路局「道路政策の技術研究開発」のホームページに掲載しております。

(<http://www.mlit.go.jp/road/tech/index.html>)

<問い合わせ先>

道路局 国道・防災課	技術企画官 森戸	03-5253-8111(内 37813)
	課長補佐 酒井	03-5253-8111(内 37862)
国土技術政策総合研究所	道路研究官 並河	029-864-2211(内 3612)

※本記者発表資料については、国土交通省ホームページ（アドレス：<http://www.mlit.go.jp>）にも掲載しています。

「新道路技術会議」による審査の結果、採択された研究（研究テーマ名と応募時の提案概要等）は以下のとおり。

【政策領域 3：新たな情報サービスと利用者満足度向上】

研究テーマ名と提案概要		研究代表者名
研究テーマ名	都市高速道路における突発事象時の最適交通運用についての研究開発	朝倉康夫 ((社)交通工学研究会、 神戸大学)
提案概要	都市高速道路において、事前に予測が困難な事故等の障害（突発事象）の発生を速やかに検出し、その事象によって生じる旅行時間の変化を予測して利用者に提供するための技術を開発するとともに、突発事象の影響を最小化するために、情報提供下での利用者行動分析を踏まえた交通運用の最適化方策について研究する。	

【政策領域 6：交通事故対策】

研究テーマ名と提案概要		研究代表者名
研究テーマ名	混合交通流の自動解析に基づく交通安全性・円滑性評価手法および交通制御・道路運用手法の構築	須崎純一 (京都大学)
提案概要	本研究では、画像処理技術を活用して交通流の自動解析を実現し、それに基づいて交通流特性をモデル化し、最終的に交通安全性・円滑性評価手法の構築、交通シミュレータの開発、および交通制御・道路運用手法の策定を目的とする。	

【政策領域 8：道路資産の保全※】

研究テーマ名と提案概要		研究代表者名
研究テーマ名	非破壊検査のための非接触音響探査法についての研究開発【FS研究】	杉本恒美 (桐蔭横浜大学)
提案概要	強い音響振動を発生する長距離音響発生装置と高感度のスキヤニング振動計を組み合わせた非接触音響探査法により、トンネル覆工や橋梁、その他構造物のコンクリート劣化部の非接触・非破壊検査システムを開発する。	

研究テーマ名と提案概要		研究代表者名
研究テーマ名	新たな超高周波電磁波を用いた道路建造物欠陥診断の研究開発【FS研究】	小山裕 (東北大学)
提案概要	道路建造物内部の欠陥を非破壊で検出する新規な手法を開発する事が目的である。そのため、これまで殆ど使われなかった透過性が高く人体に安全な新しい光である独自の超高周波電磁波（テラヘルツ波）を用いて、現場で特別な養生無く使える安心・安全で高精度な構造物欠陥検出方法の実用化を目指す。	

※政策領域 8 の 2 課題については、いずれも FS 研究課題として採択。

【政策領域 1、2、4、5、7、9、10、タイプ IV（無電柱化推進）については該当無し】

なお、採択された研究については、新道路技術会議での審査時の審議内容に基づき、研究内容の調整等を行った上で、平成 22 年度の研究を進めていただくこととなります（応募及び審査結果の概要、新道路技術会議委員については、参考を参照）。

道路政策の質の向上に資する技術研究開発の応募及び審査結果の概要

		タイプⅠ	タイプⅡ	タイプⅢ	タイプⅣ	合 計	
		政策実現型	技術ブレイク スルー型	新政策領域 創造型	特定課題対応型 (無電柱化推進)	応募 (件)	採択 (件)
領域1	新たな行政システムの創造	2	1	1		4	
領域2	道路ネットワークの形成と有効活用	1	1	2		4	
領域3	新たな情報サービスと利用者満足度向上	1	2			3	1
領域4	コスト構造改革	1	3			4	
領域5	美しい景観と快適で質の高い道空間の創出	1		1		2	
領域6	交通事故対策	2	3	1		6	1
領域7	防災・災害復旧対策	2	5			7	
領域8	道路資産の保全	3	7			10	2
領域9	沿道環境、生活環境	1	1			2	
領域10	自然環境、地球環境	1	1			2	
—	特定課題（無電柱化推進）				6	6	
合計(件)		15	24	5	6	50	4



新道路技術会議 委員名簿

- 委員長：中村 英夫 東京都市大学学長 東京大学名誉教授
- 委員：赤羽 弘和 千葉工業大学 教授
- 委員（ソフ分科会長）
- ：家田 仁 東京大学大学院 教授
- 委員：太田 和博 専修大学 教授
- 委員：小澤 一雅 東京大学大学院 教授
- 委員：川島 一彦 東京工業大学大学院 教授
- 委員：川嶋 弘尚 慶應義塾大学 名誉教授
コ・モビリティ社会研究センター 特別顧問
- 委員：佐々木 葉 早稲田大学 教授
- 委員：柴崎 亮介 東京大学 空間情報科学研究センター 教授
- 委員：竹内 健蔵 東京女子大学 教授
- 委員：中越 信和 広島大学大学院 教授
- 委員（委員長代理・ハート分科会長）
- ：三木 千壽 東京工業大学大学院 教授
- 委員：吉川 正嗣 (社)建設コンサルタンツ協会
インフラストラクチャー研究所 主任研究員
- 委員：吉田 明 (社)日本土木工業協会 広報委員会副委員長

(敬称略、五十音順)